

# ふゆ やす かまどふだ あつ たの 冬休みは…「竈札」を集めて楽しいまちあるき！

めいじ たいしやう しょうわ 明治・大正・昭和の 竈電ヘタムスリッパ してみよう！

人気漫画「鬼滅の刃」の主人公「竈門炭治郎」と同じ竈の字を使っていることで塩竈市がテレビや新聞、インターネットなどで多く取り上げられました。実は塩竈市には、「鬼滅の刃」の舞台と同じ大正時代を始め、明治時代、昭和時代に建てられた、当時の雰囲気味わえる場所があるのを知っていますか？

今回は、冬休みに気軽に行ける市内のスポットを紹介します。明治・大正・昭和の雰囲気を体感してみましょう。今なら、集めて楽しいとっても可愛い「竈札」がもらえるよ！

## きゆう かめ い てい 旧 亀井邸



▲特徴ある窓の様子が印象的  
どこにあるか探してみよう！



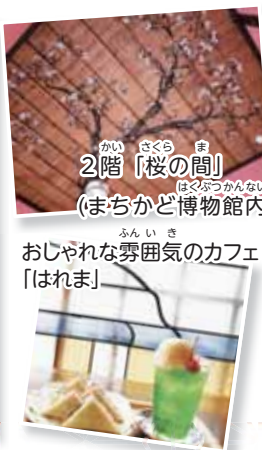
しょうわ ねん しょうがま さいげん 昭和10年ころの塩竈を再現したジオラマ

大正時代(大正13年)商人の現在のカメイ株式会社の初代社長、亀井文平さんがお客さんを迎えるために建てられました。和風建築と洋風建築が同じ敷地にある、当時のものでは珍しく貴重です。NPOみなとしほがまのボランティアガイドの人が案内してくれます。館内に展示されている昭和10年ころの塩竈が再現されたジオラマは当時の雰囲気を知ることができて必見です。

## きゆう りよかん 旧 ゑびや旅館



▲市の花白菊が描かれたステンドグラスを眺めてお茶…。そんなちよつと大人な時間を過ごしてみては？



かい さくら ま 2階「桜の間」 (まちかど博物館内)

おじゃれな雰囲気のカフェ「はれま」

150年以上前、明治時代初めに旅館として建てられました。当時の木造3階建の旅館建築は、全国的に残っている数が少なく、とても貴重な建物です。東日本大震災で津波被害を受け解体される予定でしたが、NPOみなとしほがまの保存活動や市民の人たちの募金などにより、保存・活用されることになりました。

現在は、1階はおしゃれなカフェになっていて、2階と3階は、「まちかど博物館」として公開されています。

※「まちかど博物館」は新型コロナウイルス感染予防対策のため休止中です

## しおがま し すぎむらしゆん びじゆつかん 塩竈市杉村惇美術館



▲建物には塩竈石が使用されています。



昭和25年に塩竈市公民館として建てられました。現在は塩竈に縁がある画家の杉村惇さんの美術館になっています。

アーチ型の天井が美しい大講堂では、音楽やたくさんの芸術の催しが行われています。ぜひ建物の中にも入ってみよう。

1月17日(日)まで杉村惇作品展を開催中。中学生以下は無料です。

※12月28日(月)～1月4日(月)はお休みです

## しおがまじんじや はくぶつかん 鹽竈神社博物館



▲神社では竈札を2種類持つていくと鹽竈神社授与所で「御神塩」がもらえます。



▲伊達家から奉納された本物の刀の柄などが展示されています

鹽竈神社博物館は神社敷地内にあります。見たことがあるけれど、中に入ったことはないという人も多いのではないのでしょうか。博物館には、江戸時代やもつと昔の貴重な刀剣、伊達藩との縁がある書物や資料が展示されています。1月1日(金・祝)～31日(日)には「御神宝・刀剣展」を開催しています。お参りの後などにちょっと寄ってみよう！

※今年は感染予防対策として、3が日以外にお参りをする分散参拝を神社では呼び掛けています。神社に行くときは、案内を守って見学やお参りをしましょう

## しおがま 塩竈のどこかで、シークレット札が…！！



市内のどこかで5枚目の竈札がもらえます。

もらえるところは3カ所！ヒントをもとに探してみよう。

- 2代目塩竈市長の像があります。土日祝日、年末年始はお休み。
- 「はやぶさ」と「しらたか」の乗り場です。ただし、新幹線ではありません。
- 6号売場の看板があります。プラス50円で酢めしにできます。

## しおがまっ子だけの札も！！

小学生・中学生の皆さんに、6枚目の竈札をプレゼントします。この機会に「竈」の書き順を覚えながら塩竈のレトロなスポットを訪ねてみてくださいね。

